

日本共産党がみなさんにお届けします

# 島本民報

2018年8月 号外

発行：日本共産党島本町委員会 TEL・FAX：962-4003

## 【連絡先】

かわの恵子 島本町水無瀬2-3-3-506

☎ 962-1708

メール：k3kawano@yahoo.co.jp

日本共産党島本町委員会の見解を紹介します。

地震・大雨被害、保育所問題での日本共産党島本町委員会の見解を紹介します。

日本共産党

## 大阪府はカジノより森林・河川整備、災害復旧の優先を！

### 地域の皆さんの長年の要望が一步前進

おおさか環状自然歩道 緊急対策事業実施へ

地震・豪雨により被災されたみなさんに心よりお見舞いを申し上げます。



自然歩道で住民から説明・要望を受ける  
宮原たけし府議

2018年度に大阪府は、新規事業「奥地保安林保全緊急事業」として3か年かけて島本町尺代地区の治山ダム設置、荒廃した溪流の復旧、森林整備などを予定しています。

自然歩道については、現在の山の上の「迂回路」を本線歩道に、これまでの川沿いコースは「支線」と位置づけて整備し、「乙女の滝」まで通行できるようにする計画です。

宮原たけし府会議員・かわの恵子町会議員  
「河川への流木を防ぐ対策」さらに要請



倒木・林道の崩落現場（尺代）

7月上旬の大雨によって尺代集落より上流の水無瀬川両岸地域に土砂崩落や倒木などの大きな被害が発生しました。

日本共産党の宮原威府会議員、河野恵子町会議員らは、地域のみなさんの声を受け、7月27日に大阪府担当課職員と現場を歩き再確認、流木を防ぐ対策、さらに自然歩道崩落箇所・危険な路肩の改修・強化を急ぐよう求めました。

### 障がい者支援施設「やまぶき園」被災 今も緊急避難で3カ所を転々と



地震後約2週間の休所を経て7月2日より役場地階の職員休憩室で再開しました。

被災した建物の「復旧可能判定調査」はアスベスト問題が重なりメドがたっていません。

現在、就労支援事業は役場、生活介護事業はふれあいセンター、職員の事務処理はやまぶき園でと分散を余儀なくされています。

そのため、洋式トイレの不備や毎日の車椅子での移動など、新たな問題が出ています。

現在の避難状態が長期化すれば、利用者、職員の心身に大きな負担をかけます。

現場の要望を聞くことを第一に、施設機能をひとつにまとめる、など改善が急がれます。

### 島本町も実施へ ブロック塀等撤去補助制度

- 撤去工事費用の上限20万円までの全額補助
  - 道路等からの高さ80cm以上
  - 補助期間 2018年6月18日～2020年3月31日
- くわしくは都市計画課（962-0360）まで

### 日本共産党 町政こんだん会

8月25日(土)午前10時～11時30分

島本町ふれあいセンター1階

健康教育指導室にて

※保育・送迎の必要な方は

090-7113-2234 河野まで



# 「初の認定子ども園」 第二幼稚園・第四保育所の一体的整備 保育士配置の町基準堅持など 保育の安心・質を高めよう



9月議会で廃止条例  
提案予定の第二幼稚園

今年度は、町立第二幼稚園廃止後に幼稚園と保育所機能を併せ持った「認定こども園」を民間で設置する（2020年開設予定）法人選定委員会の予算が組まれました。

島本町にとっては初めてのことで、利用予定者からは不安の声も上がっています。障がいを持った子どもたちや保護者が安心して利用でき、保育士が働きがいのある認定こども園にすることが求められます。

## 国に先駆けて実施 島本町の障がい児保育

○現在まで、すべての町立幼稚園・保育所で「支援を要する子どもの保育」「障がい児保育」を実施。

○医療ケアを要する子どもに対してマンツーマンでの看護師を配置し受け入れ など。

この島本町の障がい保育の経験と実績を、認定子ども園においても引き継ぐことが求められます。

## 認定子ども園に求められる役割・基準は

○第二幼稚園・第四保育所保護者・職員を法人選定経過に参加させること。

○(町の方針として) 第四保育所耐震工事中は休所中となるため、新設認定子ども園が一時的に園児を受け入れる役割をもつ。

○(耐震改修中) 移動する児童に公立保育士を同行させ、引継ぎを十分に行うこと。

○町立保育所臨時保育士の解雇につながらないよう職員の声を聴くこと。

## 2年後まで待てない! 第四保育所の耐震化

町立保育所・幼稚園の耐震化状況（町HPより抜粋）

	耐震診断	耐震補強工事
第四保育所	2012年実施	未実施
第二幼稚園	同上（軽量鉄骨・平屋造りのため、基準が異なる）	未実施
第一幼稚園	新耐震基準で建設	---
第二保育所	2014年実施	済（避難所としての基準もクリア）



写真は、耐震化未実施の第四保育所

## 緊急要望書が町長・教育長・全議員に

6月25日、島本町民の有志から「第四保育所緊急建替え要望書・保育への提言」が提出されました。

## 「認定子ども園」タウンミーティング・町の声は・・・

- 「公立施設」を本当に手放していいのか。初めての認定子ども園は公立で。
- 耐震改修していない第四保育所に、我が子を預けていいのかと、毎日辛い思いをしている。
- 待機児童が解消するまで新たな開発は止めてほしい。
- 民間活力というが、もし保育士が集まらなければ、障害児保育・一時保育も始められない。
- 定員200人規模を、もう少し小規模でできないか。
- 民間運営でも保護者や地域に開かれた保育、行政や議会がしっかりチェックできるようにしてほしい・・・など多くの声が寄せられています。

## 待ったなし! 議会改革

### ■インターネット中継

### ワーキングチームが発足

### ■議長公用車廃止される

7月10日の議員全員協議会で、「町議会のネット中継」について副議長を座長に、5つの会派から1名ずつと河野を選出、7人でワーキングチー

ムが構成されスタートしました。

10月の次年度予算編成時期までに、現庁舎で導入するか、または庁舎建替え時とするかを見極め、判断できる資料収集と報告を行うことを決めました。論議は一気にスピードアップしています。

また、「改革」のもう一つの課題であった議長公用車が廃止されました。

**今後も住民に開かれた議会へがんばります。**